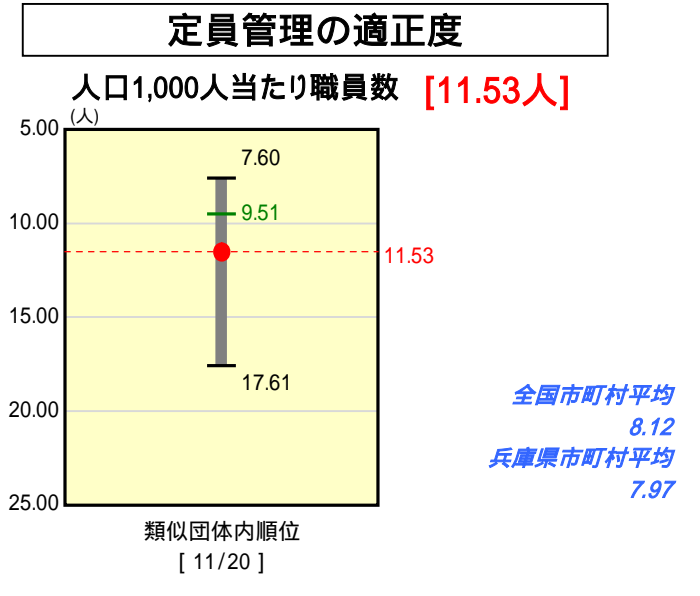
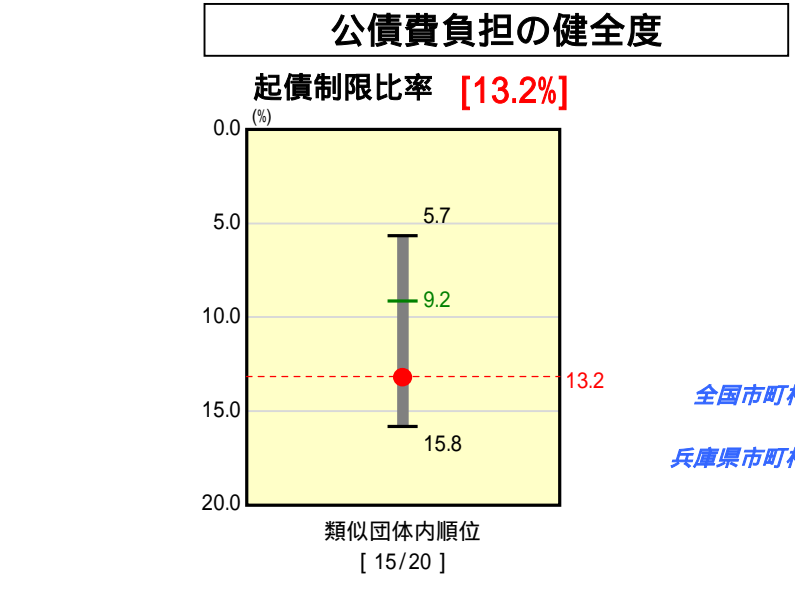
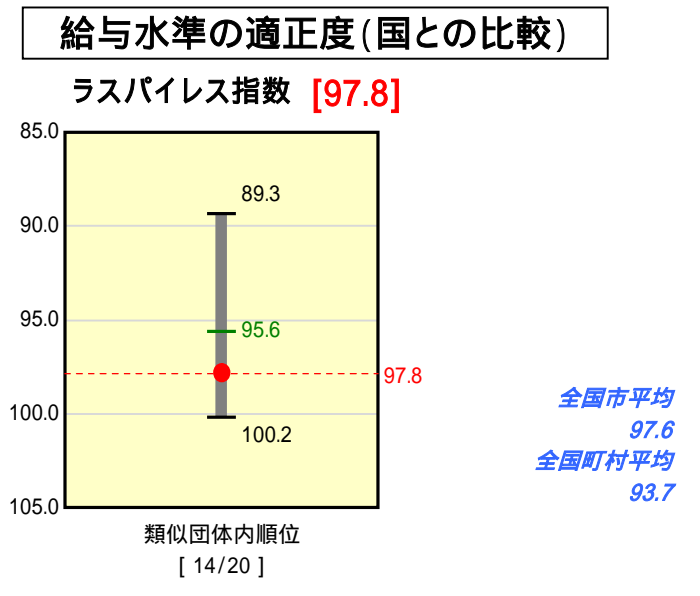
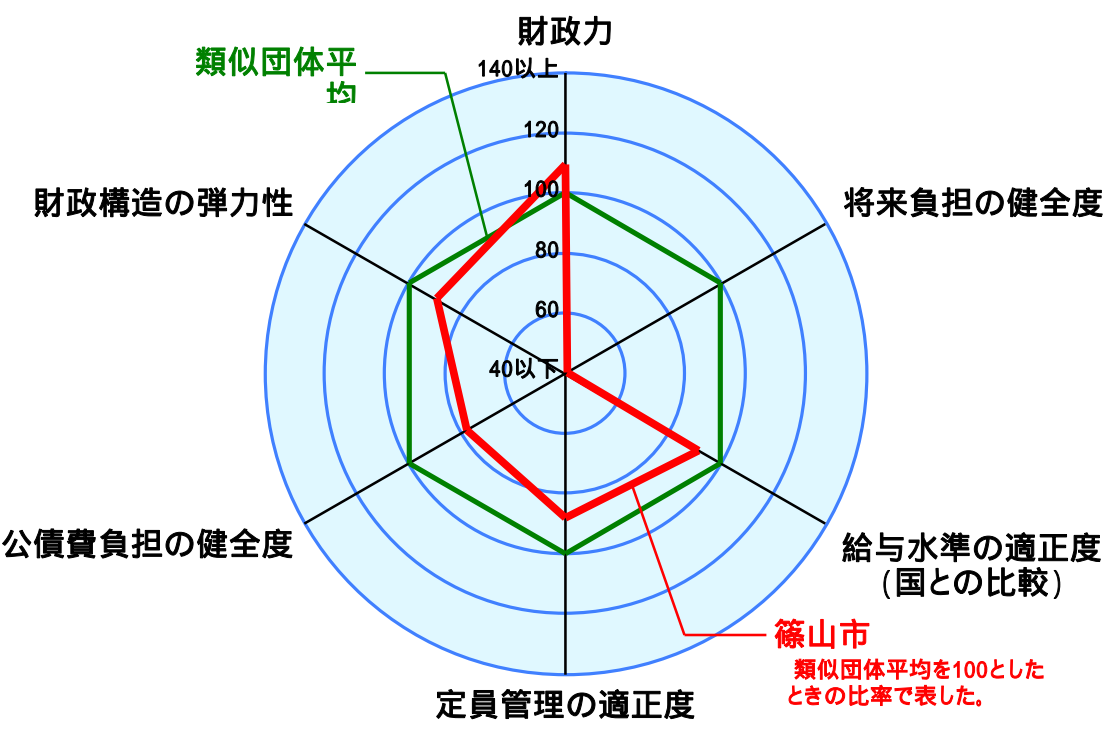
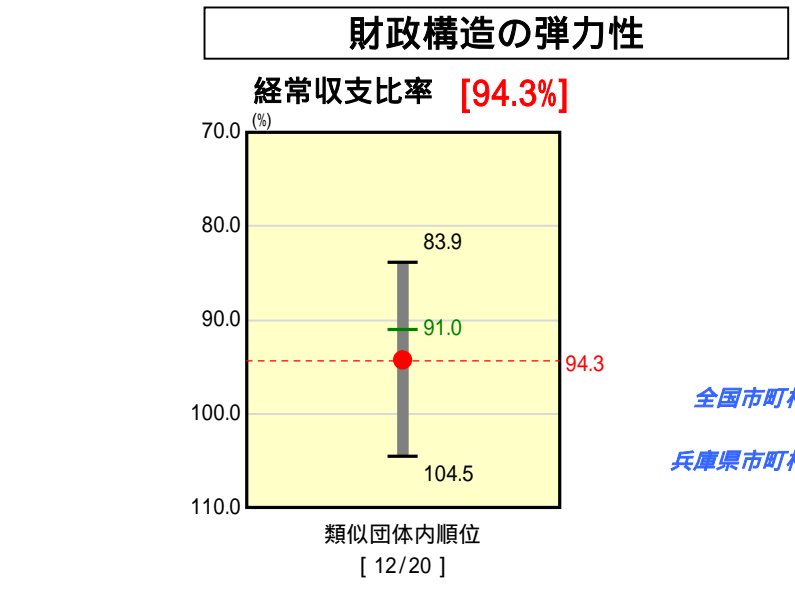
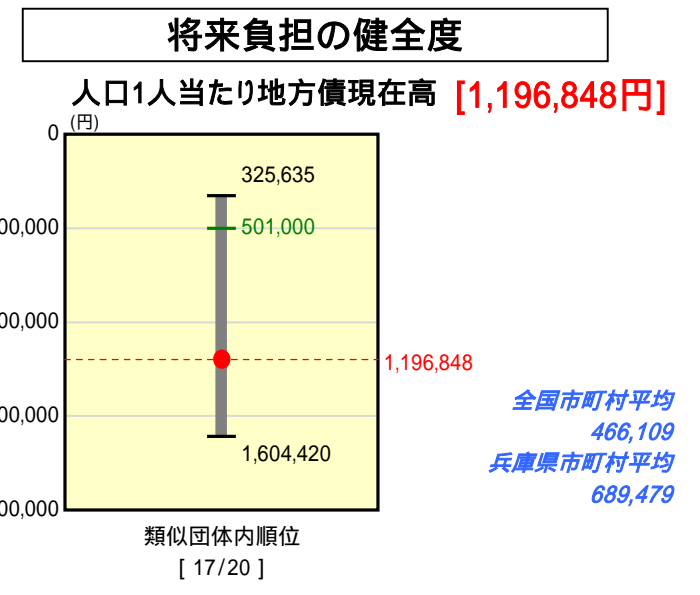
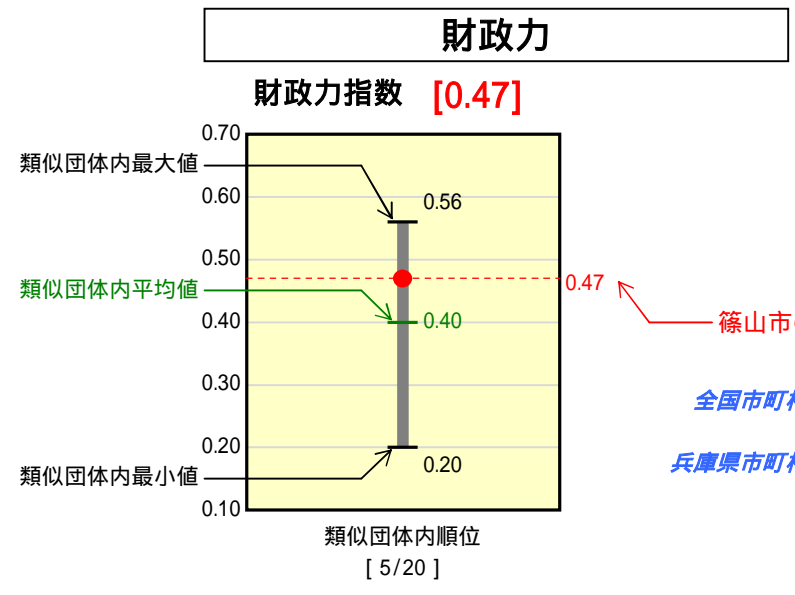


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

兵庫県 篠山市

人口	46,658人(H17.3.31現在)
面積	377.61 km ²
歳入総額	25,666,589千円
歳出総額	25,078,862千円
実質収支	401,526千円



分析欄

財政力指数: 類似団体に比べて税収が多く平均より高い数値となっている。しかしながら合併以前からの懸案であった清掃センターを始めとした大型事業の実施により借り入れた地方債の償還額が伸びているため、平成14年度から3年連続で財政力指数が低下する結果となっている。今後とも行政改革や繰上償還等により健全財政に努めていく。

経常収支比率: 94.3%と類似団体平均値より高い数値となっているが、これは合併したことにより公共施設が多いことでの維持管理経費や人件費ならびに地方債の償還額が多いことなどが原因と考えられる。今後は施設の統廃合を含めコスト削減に努めていく。

起債制限比率: 合併以前からの懸案であった清掃センター等の大型事業の実施により借り入れた地方債の償還額が増加しているため類似団体に比べて高い数値となっている。これまでから繰上償還等により指数抑制に努めてきたが今後も事業精査による新規発行の抑制及びさらなる繰上償還等に努めていく。

人口1人当たり地方債残高: 市債残高が合併後着手した大型事業実施により類似団体に比べて約2倍となっている。しかしながら、残高のうち約6割が後年度の地方交付税により措置される有利な地方債を活用しており、今後新規発行の抑制や有利な地方債活用及び繰上償還等により財政基盤の健全化に努めていく。

ラスパイレス指数: 類似団体平均を2.2上回り、全国市平均よりも0.2上回っている。今後は、各種手当等の総点検、あるいは地域の民間企業の平均給与の状況を踏まえ、より一層の給与の適正化に努めていく。

人口1000人あたり職員数: 平成17年度から平成26年度までの10年間にわたり第2次定員適正化計画を策定し、100人減の合計509人を目指し職員の削減に努めていく。